



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クリーク・アンド・リバー社

コード番号 4763 URL <https://www.cri.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）黒崎 淳

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 （氏名）枋尾 有紀 TEL 03-4550-0011

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期第1四半期	13,839	7.7	1,421	12.7	1,406	10.1	913	6.2
2025年2月期第1四半期	12,854	0.8	1,261	△20.2	1,277	△19.9	860	△17.7

（注）包括利益 2026年2月期第1四半期 878百万円（△0.7％） 2025年2月期第1四半期 885百万円（△13.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	43.20	43.14
2025年2月期第1四半期	39.67	39.45

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期第1四半期	47,870	16,067	33.1
2025年2月期	27,078	16,012	58.6

（参考）自己資本 2026年2月期第1四半期 15,850百万円 2025年2月期 15,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	41.00	41.00
2026年2月期	—				
2026年2月期（予想）		0.00	—	45.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	28,000	8.4	2,100	△4.3	2,100	△7.3	1,350	△8.2	63.23
通期	60,000	19.3	5,000	38.3	5,000	35.3	3,200	42.1	149.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 株式会社T&Wオフィス、株式会社高橋書店、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年2月期1Q	23,009,000株	2025年2月期	23,009,000株
2026年2月期1Q	1,859,989株	2025年2月期	1,859,989株
2026年2月期1Q	21,149,011株	2025年2月期1Q	21,682,570株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(追加情報)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、物価上昇による個人消費の低迷や内閣府が発表する景気動向指数が「悪化」となるなど、先行きの不透明感が強まってきております。為替相場の動向や長期化するロシア・ウクライナ情勢、中東情勢の地政学リスク、米トランプ政権による関税措置の影響等、依然として社会や経済環境を注視していく必要があります。

このような環境の中、当社グループは「人の能力は、無限の可能性を秘めています。私たちは、その能力を最大限に引き出し、人と社会の幸せのために貢献します。」を統括理念として掲げ、事業を運営してまいりました。当社グループは、全37社・18分野にわたり約41万人のプロフェッショナルネットワークを有しております。ネットワークするクリエイターや医師、ITエンジニア、弁護士、会計士、建築士、ファッションデザイナー、シェフ、研究者等の専門的な能力を有するプロフェッショナルへのニーズは底堅く推移しております。

当第1四半期連結累計期間は、既存の各分野において着実に利益成長を実現いたしました。加えて、2025年3月に新たに6社を連結子会社化いたしました。株式会社バンダイナムコエンターテインメントと共同で設立した合弁会社 株式会社URS Gamesはゲーム関連でのプロデュース事業を、株式会社T&Wオフィスを持株会社とする高橋書店グループ5社は手帳・日記、カレンダー等の企画、編集、出版等の事業を展開しております。2025年6月1日付で株式会社C&Rインキュベーション・ラボより社名変更した株式会社C&R EVERLASTING STORYは、経営者をプロフェッショナルと捉え、優秀な経営人材が活躍する場を提供するとともに、社会問題化する優良企業の事業承継に関する課題を解決することを目的として、事業を加速しております。今回の高橋書店グループの連結子会社化はその第一弾としての位置づけであり、今後、当社グループのリソースを掛け合わせ、企業価値の向上を目指してまいります。なお、高橋書店グループは、当第1四半期において連結貸借対照表に含めておりますが、決算日の関係により損益への影響は第2四半期以降となります。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高13,839百万円（前年同期比107.7%）、営業利益1,421百万円（前年同期比112.7%）、経常利益1,406百万円（前年同期比110.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は913百万円（前年同期比106.2%）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しております。当四半期の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、2「四半期連結財務諸表及び主な注記」（3）「四半期連結財務諸表に関する注記事項」（セグメント情報等の注記）をご参照ください。

① クリエイティブ分野（日本）

クリエイティブ分野（日本）は、グループの中核となる当社を筆頭に全6社で構成しております。映像、ゲーム、Web、広告・出版等のクリエイティブ領域で活躍するクリエイターを対象としたプロデュース、ライツマネジメント、エージェンシー事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におけるクリエイティブ分野（日本）の業績は、映像、ゲーム、Web等の主力分野が堅調に推移し、売上高9,248百万円（前年同期比106.1%）、セグメント利益（営業利益）664百万円（前年同期比123.0%）となりました。

② クリエイティブ分野（韓国）

クリエイティブ分野（韓国）は、連結子会社 CREEK & RIVER ENTERTAINMENT Co., Ltd.を中心に2社で構成しており、クリエイティブ分野（日本）と同様のビジネスモデルを韓国にて展開しております。主な活動分野は、映像分野と出版分野であり、テレビ局への人材派遣やオリジナルコミックの企画・制作等を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におけるクリエイティブ分野（韓国）の業績は、売上高763百万円（前年同期比96.3%）、セグメント損失（営業損失）5百万円（前年同期はセグメント損失12百万円）となりました。

③ 医療分野

医療分野は、連結子会社 株式会社メディカル・プリンシプル社を中心に2社で構成しております。医師の紹介事業や医学生・研修医向けのイベント開催、地域医療周辺サービス事業等を展開しております。

当第1四半期連結累計期間における医療分野の業績は、医師紹介の成約数が前年同期を上回って順調に推移した結果、売上高1,937百万円（前年同期比110.9%）、セグメント利益（営業利益）805百万円（前年同期比113.7%）となりました。

④ 会計・法曹分野

会計・法曹分野は、連結子会社 ジャスネットコミュニケーションズ株式会社及び連結子会社 株式会社C&Rリーガル・エージェンシー社が、会計士や弁護士を対象としたエージェンシー事業を中心に展開しております。

当第1四半期連結累計期間における会計・法曹分野の業績は、前期より続く人材紹介サービスの成約長期化の影響により、売上高606百万円（前年同期比95.9%）、セグメント利益（営業利益）48百万円（前年同期比107.3%）となりました。

⑤ CRES分野

CRES分野は、連結子会社 株式会社C&R EVERLASTING STORY（2025年6月1日付で株式会社C&Rインキュベーション・ラボより社名変更）を中心に、2025年3月に連結子会社化した高橋書店グループを含めた全6社で構成しております。連結子会社 株式会社C&R EVERLASTING STORYは、事業創造や事業承継、企業再生支援を目的とした投資事業及びCXO（CEO、COO、CFO等）や戦略コンサルタント等の経営者ネットワークを活用したエージェンシー事業を展開しております。当社グループがネットワークするプロフェッショナルの叡智を組み合わせ、新たな企業価値の創造に取り組んでおります。

なお、高橋書店グループの業績は第2四半期より連結損益に反映され、当第1四半期連結累計期間においては、のれんの償却費用等が計上されております。

当第1四半期連結累計期間におけるCRES分野の業績は、売上高12百万円（前年同期は売上高0百万円）、セグメント損失（営業損失）40百万円（前年同期はセグメント利益3百万円）となりました。

⑥ その他の事業

その他の事業は、全19社で構成しております。成長著しいIT分野やAI/DX分野、衣食住に関わるファッション分野、建築分野、アグリカルチャー分野での事業展開に加え、新たな事業の創出やプロフェッショナル・クライアントの課題解決の一助となるサービスの提供を推進しております。当社グループの連携を強化しながら業容拡大に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の業績は、売上高は順調に増加している一方で、事業拡大に向けた積極的な投資を行っており、売上高1,271百万円（前年同期比131.2%）、セグメント損失（営業損失）40百万円（前年同期はセグメント損失24百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末より16,886百万円増加し37,665百万円となりました。これは、主として高橋書店グループの連結子会社化に伴い、現金及び預金が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末より3,925百万円増加し10,204百万円となりました。これは、上記同様に主として高橋書店グループの連結子会社化に伴い、有形固定資産及び繰延税金資産が増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末より20,479百万円増加し30,763百万円となりました。これは、主として高橋書店グループの連結子会社化に伴い、短期借入金が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末より257百万円増加し1,039百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末より54百万円増加し、16,067百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2025年4月10日に発表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,807,120	26,063,914
受取手形、売掛金及び契約資産	6,701,971	9,650,224
商品	10,664	8,498
製品	89,482	524,720
仕掛品	282,348	231,244
貯蔵品	3,856	51,333
その他	948,244	1,179,587
貸倒引当金	△44,753	△44,328
流動資産合計	20,798,934	37,665,194
固定資産		
有形固定資産	1,259,588	2,540,413
無形固定資産		
のれん	293,741	868,686
ソフトウェア	987,585	945,341
その他	19,886	53,480
無形固定資産合計	1,301,213	1,867,508
投資その他の資産		
投資有価証券	1,257,173	1,404,163
出資金	335,560	335,995
敷金及び保証金	891,301	994,383
繰延税金資産	463,427	1,680,043
その他	875,097	1,490,536
貸倒引当金	△103,670	△108,224
投資その他の資産合計	3,718,889	5,796,897
固定資産合計	6,279,691	10,204,818
資産合計	27,078,626	47,870,013
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,167,630	4,560,823
短期借入金	3,773,106	18,073,106
1年内返済予定の長期借入金	22,090	41,815
未払法人税等	579,050	1,239,194
未払消費税等	495,523	915,363
未払費用	783,614	1,103,293
賞与引当金	404,931	393,422
返金負債	18,151	2,460,984
その他	1,039,977	1,975,343
流動負債合計	10,284,075	30,763,347
固定負債		
長期借入金	372,170	349,760
退職給付に係る負債	83,507	164,269
株式給付引当金	299,062	316,711
繰延税金負債	922	95,967
その他	26,218	112,345
固定負債合計	781,880	1,039,053
負債合計	11,065,956	31,802,400

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,177,194	1,177,194
資本剰余金	2,465,862	2,465,862
利益剰余金	14,739,024	14,759,719
自己株式	△2,697,156	△2,697,156
株主資本合計	15,684,925	15,705,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,024	70,291
為替換算調整勘定	114,628	74,089
その他の包括利益累計額合計	191,652	144,380
新株予約権	1,750	1,750
非支配株主持分	134,341	215,861
純資産合計	16,012,669	16,067,612
負債純資産合計	27,078,626	47,870,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	12,854,278	13,839,154
売上原価	7,797,861	8,498,172
売上総利益	5,056,416	5,340,981
販売費及び一般管理費	3,794,835	3,919,737
営業利益	1,261,581	1,421,244
営業外収益		
受取利息	2,493	5,371
受取配当金	—	249
為替差益	297	—
保険解約返戻金	8,004	—
助成金収入	2,809	6,784
持分法による投資利益	5,783	—
雑収入	856	572
その他	548	789
営業外収益合計	20,793	13,766
営業外費用		
支払利息	2,987	24,742
為替差損	—	2,732
雑損失	1,040	105
持分法による投資損失	—	1,602
その他	896	△900
営業外費用合計	4,923	28,282
経常利益	1,277,450	1,406,728
特別利益		
固定資産売却益	227	—
移転補償金	12,848	—
特別利益合計	13,076	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
固定資産売却損	—	0
和解金	5,845	1,200
事務所移転関連損失	3,564	—
特別損失合計	9,409	1,200
税金等調整前四半期純利益	1,281,117	1,405,528
法人税、住民税及び事業税	343,797	444,514
法人税等調整額	77,500	35,216
法人税等合計	421,298	479,730
四半期純利益	859,819	925,797
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△291	12,167
親会社株主に帰属する四半期純利益	860,110	913,630

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	859,819	925,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,387	△6,733
為替換算調整勘定	10,888	△40,538
その他の包括利益合計	25,275	△47,271
四半期包括利益	885,094	878,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	885,385	866,358
非支配株主に係る四半期包括利益	△291	12,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社URS Games及び、当社の連結子会社である株式会社C&R EVERLASTING STORY (旧株式会社C&Rインキュベーション・ラボ) が新たに株式を取得した株式会社T&Wオフィス (高橋書店グループ) を連結の範囲に含めております。

なお、当第1四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クリエイティブ 分野 (日本)	クリエイティブ 分野 (韓国)	医療分野	会計・法曹 分野	CRES分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	8,713,049	792,218	1,747,495	632,091	—	11,884,854	969,424	12,854,278	—	12,854,278
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	17,193	—	—	2,132	7,500	26,825	65,150	91,976	△91,976	—
計	8,730,242	792,218	1,747,495	634,223	7,500	11,911,680	1,034,574	12,946,254	△91,976	12,854,278
セグメント利益 又は損失 (△)	540,218	△12,823	708,497	45,405	3,271	1,284,568	△24,348	1,260,220	1,360	1,261,581

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT・ファッション他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額1,360千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クリエイティブ 分野 (日本)	クリエイティブ 分野 (韓国)	医療分野	会計・法曹 分野	CRES分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	9,248,102	763,007	1,937,455	606,183	12,956	12,567,706	1,271,448	13,839,154	—	13,839,154
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	32,045	—	—	2,952	9,919	44,917	67,656	112,574	△112,574	—
計	9,280,148	763,007	1,937,455	609,136	22,875	12,612,623	1,339,104	13,951,728	△112,574	13,839,154
セグメント利益 又は損失 (△)	664,653	△5,965	805,676	48,711	△40,646	1,472,429	△40,437	1,431,992	△10,748	1,421,244

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT・ファッション他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△10,748千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年3月31日付で当社の連結子会社である株式会社C&R EVERLASTING STORYが株式会社T&Wオフィスの株式を取得したことに伴い、従来の報告セグメントに「CRES分野」を追加しております。このセグメントには株式会社C&R EVERLASTING STORYが展開する事業承継・M&A等の事業が含まれております。

なお、当第1四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「CRES分野」において、2025年3月31日付で当社の連結子会社である株式会社C&R EVERLASTING STORYが株式会社T&Wオフィスの株式を取得したことに伴い、のれんが651,849千円増加しております。

なお、当該のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	98,321千円	127,372千円
のれんの償却額	44,446	59,677

(追加情報)

(株式給付信託型ESOP)

当社は、従業員への福利厚生を目的として、信託を通じて自社の株式を交付する取引を行なっております。

(1) 取引の概要

当社は、2014年10月2日開催の取締役会決議に基づき、一定以上の職位者に対し経営参画意識の向上を促すとともに、業績へのコミットメントとそのインセンティブを高めるための報酬制度として、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託型ESOP」（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度は、あらかじめ当社が定める株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。

当社が当社従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者として、当社株式の取得資金を拠出することにより信託を設定します。当該信託は、株式給付規程に基づき当社従業員に交付すると見込まれる数の当社株式を株式市場において取得します。

当社は、株式給付規程に基づき、従業員に対し業績貢献度等に応じてポイントを付与し、退職時に（累積した）ポイントに相当する当社株式を無償で給付します。

本制度の導入により、当社従業員の業績向上及び株価への関心が高まり、当社従業員がこれまで以上に意欲的に業務に取り組むことが期待されます。

なお、2023年4月6日開催の取締役会において、本制度の継続及び追加拠出について決議しております。

(2) 信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）を適用し、従来採用していた方法を継続しております。

(3) 信託が保有する自社の株式に関する事項

信託が保有する当社株式の帳簿価額（付随費用の金額を除く。）は、前連結会計年度786,211千円、当第1四半期連結会計期間786,211千円で、株主資本において自己株式として計上しております。

また、当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度629,900株、当第1四半期連結会計期間629,900株、期中平均株式数は、前第1四半期連結会計年度634,108株、当第1四半期連結会計期間629,900株であり、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	クリエイティブ 分野 (日本)	クリエイティブ 分野 (韓国)	医療分野	会計・法曹 分野	CRES分野	計		
財又はサービスの種類								
エージェンシー事業	3,195,264	752,006	1,491,844	577,682	—	6,016,798	189,880	6,206,679
プロデュース事業	5,246,133	—	234,996	46,628	—	5,527,758	539,696	6,067,454
ライツマネジメント事業	243,270	39,756	—	—	—	283,027	11,569	294,596
その他の事業	28,380	455	20,654	7,780	—	57,270	228,277	285,547
顧客との契約から生じる収益	8,713,049	792,218	1,747,495	632,091	—	11,884,854	969,424	12,854,278
財又はサービスの移転の時期								
一時点で移転される財又はサービス	3,167,990	40,211	1,697,635	235,648	—	5,141,486	328,393	5,469,879
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	5,545,058	752,006	49,859	396,443	—	6,743,367	641,031	7,384,399
顧客との契約から生じる収益	8,713,049	792,218	1,747,495	632,091	—	11,884,854	969,424	12,854,278
外部顧客への売上高	8,713,049	792,218	1,747,495	632,091	—	11,884,854	969,424	12,854,278

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT・ファッション他の事業を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	クリエイティブ 分野 (日本)	クリエイティブ 分野 (韓国)	医療分野	会計・法曹 分野	CRES分野	計		
財又はサービスの種類								
エージェンシー事業	3,214,628	727,730	1,670,914	549,664	8,156	6,171,093	220,967	6,392,061
プロデュース事業	5,645,925	—	243,278	50,511	4,800	5,944,515	987,039	6,931,554
ライツマネジメント事業	237,074	35,199	—	—	—	272,274	16,299	288,574
その他の事業	150,474	77	23,263	6,007	—	179,823	47,140	226,963
顧客との契約から生じる収益	9,248,102	763,007	1,937,455	606,183	12,956	12,567,706	1,271,448	13,839,154
財又はサービスの移転の時期								
一時点で移転される財又はサービス	3,405,101	35,277	1,859,950	226,117	8,156	5,534,603	588,096	6,122,700
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	5,843,001	727,730	77,505	380,065	4,800	7,033,102	683,351	7,716,454
顧客との契約から生じる収益	9,248,102	763,007	1,937,455	606,183	12,956	12,567,706	1,271,448	13,839,154
外部顧客への売上高	9,248,102	763,007	1,937,455	606,183	12,956	12,567,706	1,271,448	13,839,154

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT・ファッション他の事業を含んでおります。